

第6回石巻市震災復興基本計画市民検討委員会要旨

1. 日時・会場

平成23年8月29日（月）18時30分～20時40分 石巻市役所 庁議室

2. 検討委員会委員

別紙名簿のとおり

① 委員長あいさつ

- ・ 市で皆さんからいただきました意見を基に復興計画の骨子をまとめました。今日は、それをご覧いただき、意見がどこに記載されているか等、議論いただきたいと思います。
- ・ 今日いただきました意見を基にさらに市で検討のうえ議会へ提出、11月に計画を決定する予定です。9月には事業計画が盛込まれる流れになると思います。
- ・ 今日はこれまでの議論が反映されているか、反映漏れはないか、市が復興していくためにふさわしいものかについて、ご意見をいただきたいと思います。
- ・ 皆さんが骨子を読んでいただいているという前提のもと議論を進めていきますので、よろしくお願いします。
- ・ 補足として、分科会で水産、中心市街地の検討がそれぞれ進んでおり、部分的には取り込まれていますが、漏れがあれば補足をいただきたいと思います。

② 資料説明

第6回検討委員会資料に基づいて復興対策室次長及び基盤整備課長より説明がありました。

③ 要旨

(委員)

- ・ 今日ともう一回開催される会議しか発言の機会はないのでしょうか。街づくりの意見、水産関係の意見の取扱いもあります。また、取り入れられていない事業が実施できないとすれば、本当のこの委員会の意見が取り込まれないのではないかと感じます。

(小野田委員長)

- ・ タマ出しをして、検討委員会の意見を盛込むべきということであれば反映させるべきだと思います。

(復興対策室次長)

- ・ まちづくり等の意見や取りまとめ内容はこの委員会で示し、皆さんから意見をいただくこととします。意見が出にくい部分もありますので、ペーパーでいただく予定です。

(委員)

- ・ 中活の意見が出てきますので、ステップを踏まないといけません。皆さんの意見を聞くような努力が必要です。すりあわせをする期間、場をいただきたいと思います。

(委員)

- ・ 建設新聞に9月1日に都市計画審議会が開催されますが、11日に都市計画決定の告示を予定

していると記載されています。復興計画との関連性をどう考えれば良いのかが理解できません。

(小野田委員長)

- ・ 委員会全体意見の取り込みと復興推進地域の取扱いについて説明をお願いします。

(基盤整備課長)

- ・ 推進地域への切り替えについて都市計画審議会に諮るものであって、面的整備の検討が必要な地域を指定することとなります。あくまでも地域を指定する者であって、整備手法などを決定するものではありません。

(小野田委員長)

- ・ 建築制限の期間が切れるので、制度的に行うものです。区画整理等は地権者、民意を反映させる必要がありますので、それは無視できません。

(委員)

- ・ 図面に凡例が入っていません。これでは、高盛土道路の高さ、幅が見えませんが、イメージがつかめません。

(基盤整備課長)

- ・ 今日、掲示しております大きな地図には凡例が入っていますが、A3版に落とし込む際に少しでも大きく見せるために部分的に拡大した結果、入らなかったものです。

(小野田委員長)

- ・ 適切な判断ができるよう、対応願います。

(復興対策室長)

- ・ 委員会の持ち方についてですが、2つのプロジェクトの意見、結果がこれから出てきますので、議会中ではありますが、開催を検討します。

(委員)

- ・ 津波を技術的にわからないまま議論していました。科学的根拠を基にせず、地震の大きさと津波とは連動しないなどの知見がないまま議論していましたが、それで良いのでしょうか。高潮はどうだったのか、オランダのような高潮対策をするのか、地盤を上げていくのか、本来住むべきではないところに住んでしまったという知見を知っていて、過去の歴史などを考慮してきたのかということです。本を読みましたが、知見を高めない中で何を持って判断基準とすべきなのかが気になります。もっと科学的な根拠などを噛み砕いたものを入れたうえで、時間は限られているが意思決定すべきです。ぜひ、事務局で準備いただきたいと思います。

(小野田委員長)

- ・ 事務局では、そういった知見を基に検討していますが、検討委員、市民にそれがなされているかという重要な問題です。

(委員)

- ・ 防災教育で必要なことであって、これがなければ先に進みません。本も出ていますので、数日できるはずです。早く対応してください。

(小野田委員長)

- ・ 東北大の今村教授の協力を得て、知識を共有できるようにしたいと思います。防災計画の一環として分析などを載せるべきであり、対応すべきと思います。
- ・ 議論を引き続き進め、フィードバックはしますが、思いついた点があればどうぞ。

(委員)

- ・ 原発の問題で、安全確保については記載されていますが、コバルトラインを整備したほうが避難通路としては早く整備できます。県道の話ばかりをしていましたが、コバルトラインは通行止めです。マスコミは福島原発の情報のみ出していますが、線量計等の計器を行政区、公共施設に置いていただき、本当の数字なのか、確かめるべきだと思います。

(基盤整備課長)

- ・ 道路網につきまして、半島部は高台への移転が原則です。県道は山側へ移動し、直線的に鮎川まで結びたいと考えていて、国へ要望しています。コバルトラインの整備は考えていません。

(委員)

- ・ コバルトラインを使うという発想はなかったのですか。

(委員)

- ・ 是非コバルトラインの整備を入れて欲しいです。

(小野田委員長)

- ・ 原発事故等の際の避難の考えもありますので、是非、地域の意見を取り入れて欲しいです。

(基盤整備課長)

- ・ コバルトラインは現状復旧をします。

(委員)

- ・ 早急にやって欲しいです。いつまで何をやるか、具体が見えません。いつまでに整備されるのか見えないので、石巻を去るといふ人もいます。人がいなくなれば復興できませんので、具体を示して欲しいです。

(委員)

- ・ 震災前の市政課題を解消すべきと言ってきました。時間によって渋滞が発生していましたが、それが高盛土道路で解消するのでしょうか。道路は平面であればどこからでも入れますが、すりつけ道路が必要になります。そうしますと、道路は混雑しませんか。全体的な地盤沈下の対応はどうするのか、内水排除をどうするのか、基本的な考え方はどのようなものをお考えかお聞きしたいです。

(基盤整備課長)

- ・ 高盛土の道路はできるだけスムーズになるよう検討中です。地盤につきましては、場所や整備手法によって検討します。渡波につきましては、内水対策はポンプ対応としますので、地盤は高くする予定はありません。

(小野田委員長)

- ・ 14、15 ページはもっと詳しく記載願います。中心部の交通網も見直しが必要です。インフラとしては、現状と変わっていませんので、これでいいのでしょうか。

(委員)

- ・ 道路網につきまして、石巻線は石巻から女川間を廃止し、新しい道路を作るという考えはないのですか。この計画は夢がありません。10年後の石巻を想像できません。廃止によって踏み切りもなくなりますので道路計画も変わってきます。夢のある計画をお願いします。真野林道の下にトンネル等があれば雄勝地区も十分に通勤圏になります。

(小野田委員長)

- ・ かなり大胆な意見も入っていますが、どうですか。

(基盤整備課長)

- ・都市計画道路は半分も整理されていませんので、狭隘道路の整備などで避難路をつくっていききたいと思います。夢のあるところで計画していききたいと思います。

(小野田委員長)

- ・夢も必要ですが現実性も大事です。事務局もそのバランスで苦慮していると思います。

(委員)

- ・防潮堤について、北上川にどれだけの水量を入れられないのか、それが大事です。その量を減らす防波堤などが重要ではないかと思いますが。

(基盤整備課長)

- ・防波堤、防潮堤は国・県との協議が必要です。県との協議で工夫してくるとは思いますが。

(小野田委員長)

- ・県と市とで詳細を詰めていますので何とも言えませんが、東北大学の土木の先生が専門家として水門で押さえる夢のある話を県にも伝えています。

(委員)

- ・避難路と避難ビルの件ですが、この避難路だけで十分でしょうか。計算しているとは思いますが、避難ビルは何分でお年寄りが行けるのでしょうか。

(基盤整備課長)

- ・避難路は代表的な歩いて行ける場所を探した結果です。ビルは半径 500 メートル、普通の方で歩いて 5 分、お年寄りであれば 10 分から 15 分と想定しています、防災担当と今後詰めていきます。

(小野田委員長)

- ・山への避難路はもっと詰めてください。

(委員)

- ・通信手段の確保がどれだけできるのか、イメージはありますか。津波の後、ラジオを聞いていましたが、経営的にもラジオ局は大変と聞いています。経営できないと何もできませんので、その辺りの考えをお聞きしたいと思います。

(小野田委員長)

- ・この先の検討事項と思いますが、コメントがあればお願いします。

(復興対策室次長)

- ・唯一通じたのが衛星携帯電話でした。避難所も孤立したので、移動系無線の設置等を計画しています。

(小野田委員長)

- ・施策大綱 2 に入ります。

(委員)

- ・市民の不安解消ということで災害時の要支援者の対応については記載が多く、民意が反映されていると思いますが、防災の部分には反映されていません。12 ページの福祉避難所の記載についてですが、ヒアリングした上で記載されているのかを確認させてください。実際問題として、今回は安否確認がなされていません。目線をそこに落とし込んで欲しいです。一市民として、計画の全てできれば良いのですが、どれが優先なのかわかりません。気仙沼市の計画は実施時期がありましたが、石巻市の計画はアバウトです。時期が見えないので安心感がありません。

(復興対策室長)

- ・ 施策の優先順位につきましては、本計画に事業主体も含め明示します。

(小野田委員長)

- ・ 市民にわかりやすく伝える部分が骨子にあっても良いと思います。ちなみに、記載している事業は防災計画に反映されていますか。

(復興対策室次長)

- ・ 避難所運営マニュアル等につきましては、今後、策定することとなります。また、19 ページの各種計画の策定・見直しにつきましては、見直す時期になってはいますが、震災によって作業ができていませんので、ヒアリングでいただいた意見などを反映させていきたいと思っています。

(委員)

- ・ 20 ページの住まいの再建ですが、復旧期に反映させて欲しいです。9 ページにも住まいの再建が記載されていますが、それぞれのステージで支援という具体的には触れていません。自主再建を全面的に支援するという姿勢が大事です。現在、トゥモロービジネスタウン内の仮設住宅にお世話になっていますが、南境土地区画整理地内で 15 件新築されます。自治体支援よりもまず自主再建、これを記載して欲しいですし、強調すべきであると骨子を見て感じました。

(小野田委員長)

- ・ 自主再建、リスクをとって進める部分の支援が必要と思います。

(復興対策室次長)

- ・ 自立が大切ですが、厳しい方もいらっしゃいますので、それらも含め検討のうえ盛込みたいと思います。

(委員)

- ・ そういった方への配慮が必要なので役所としての回答としては良いと思います。県計画、は市の計画と似通っていますが、県レベルであれば、こういったもので良いです。しかし、市レベルであれば流出、全壊地区が今後どうなるのか、それに答える必要があるという意味で、強く要望しておきます。

(市長)

- ・ 力強い意見、ありがたいです。自立を促す記載をここに入れたいと思います。

(委員)

- ・ 19 ページの一時（一次）医療の文字訂正をお願いします。地域医療の面から市立病院は重要です。災害時の医療体制について、中心は日赤及び市立病院でしたが、結局、市立病院がだめになりました。本来、宮城県沖地震の際には 2 つの病院が対応する想定でした。今後の市立病院の整備にあたって、資金面で苦勞しており、当初は現地復旧との考えでしたが、国から現地以外での再建も認められました。日赤ひとつではパンクしますので、市立病院の立地について、最悪の場合でも機能する病院となるよう考えて欲しいです。

(小野田委員長)

- ・ 今後の検討にあたっては立地場所に十分に考慮願いたいということですね。

(委員)

- ・ 位置的に日赤とは離れていなければならないです。震災でも機能する、立地場所が非常に重要なので、現行では記載が不十分です。震災に強いだけでなく、住民が集まれ、機能する場所に整備すべきです。

(小野田委員長)

- ・ 病院が機能するよう、また、市民がアクセスできるような内容の記載を検討していただきたいです。

(市長)

- ・ 最小限の位置変更は可能であると厚生労働省から見解が示されました。位置変更は認めることですので、時間をいただければ具体記載が可能になると思います。

(委員)

- ・ 住まいと職の再建、二重ローンは深刻な問題です。個人分は進んできていますが、自己破産を迫るのか、債務整理を迫るのか、行政がどこまで踏み込めるのかにかかってきます。企業も雇用を守るためには設備投資できない状況です。企業等にどこまで踏み込んで支援できるかを検討して欲しいです。第6章、財源確保なくして事業推進はできません。国予算でどこまで手当てができるのか、中央陳情を進めるべきです。金融面のバックアップが個人、企業、ひいては雇用を守ることとなります。

(小野田委員長)

- ・ 金融支援についてお願いします。

(産業部長)

- ・ 職の再建イコール産業の復旧・復興です。二重ローンはそれぞれの被災県が金融機関との調整に入ったと聞いています。確かに不意透明な部分であり、市としてどのような財政出動が可能か、状況を見据えながら、ただし、市の財政状況として難しい部分はありますが、本計画への反映を検討したいと思います。

(小野田委員長)

- ・ 重要な話であり、金融機関からの支援の話もありますので、活用について検討してください。水面下で調整していると思いますがよろしくお願いします。

(委員)

- ・ 職の再建、地元企業が休業、廃業している状況ですので、いち早く復旧させる施策を打って欲しいです。グループ補助について、予算規模が一桁違うと思うので、枠をもっと拡大するよう要望して欲しいです。市からもっと支援いただけるよう、補助枠拡大の措置を講じて欲しいです。雇用がなくなれば人口が減少します。新規事業を起す、企業を誘致するのはその後の課題ですが、それもできれば良いと思います。
- ・ 住まいの再建、家が被災した方に支援金が出ていますが、保険制度の充実を働きかけるべきです。地震保険が50%しか降りないのはナンセンスです。新潟地震の時に地震保険制度が創設され、当時は家の再建ではなく、生活費の補償という考えでしたが、新潟地震から50年以上たっていますので住まいが再建できるように変えるべきです。市は100%保険がおりのよう、国への働きかけ等をすべきです。浸水深の図面について線の意味と、堤防高によるシミュレーションが示されるということでもいいですか。当社の社屋再建にも関わりますので、早く示して欲しいです。

(小野田委員長)

- ・ 地震保険等は国も絡みますので、是非、国に働きかけをお願いします。自立再建する方々への情報提供につきましても是非、検討いただきたいと思います。

(委員)

- ・ 19ページの地域医療の再建について、避難所として施設を開放していましたが、ドクターがい

ることが心強かったです。手厚く、ドクターが地域で活躍できるような支援をお願いします。

- ・ 断水が続いていましたので、2次災害の発生を恐れていましたので、対応として、貯水槽なども整備をお願いします。

(小野田委員長)

- ・ 是非、反映をしてください。

(委員)

- ・ 緊急雇用の実施については、ありがたいと思いますが、公共事業としてふさわしいのかと思います。地場企業の復活なしには復興は進みません。解雇者を早く戻りたいので、正社員化に向けた再建と雇用対策を講じていただきたいです。皆、もとの仕事に戻りたいという気持ちがありますので、緊急雇用事業の中でマッチング等も進めて欲しいです。

(小野田委員長)

- ・ 21 ページですが、市内企業の支援の部分が薄いと思います。

(産業部長)

- ・ 職の再建、地元企業の再生が一番重要ですので、産業振興とオーバーラップする部分もありますが、地元企業の再建についても盛り込んで行くよう検討します。

(小野田委員長)

- ・ 大綱3は大事なのでよろしくお願いします。

(委員)

- ・ 特区についてまとめて記載されていますが、水産業に関してはハンディを背負っていますので、ここにも入れ込むべきだと思います。商業について、街なかについて部会で揉んだものを出しますので、盛り込んで欲しいです。コンパクトシティについても盛り込んで欲しいです。

(小野田委員長)

- ・ 街なかプロジェクトの意見が盛り込まれるということですね。水産に関する意見はよろしいですか。

(委員) (委員)

- ・ よろしいです。

(小野田委員長)

- ・ 中心市街地は今後、意見が反映されることでよろしいですか。

(委員)

- ・ 観光戦略施設関係で、ブルーツーリズムや防災ツアー等が出ていますが、半島部の施設は大きな被害を受けていますので、地元事業者の復興に向けたバックアップを前面に出して欲しいです。

(小野田委員長)

- ・ 施策大綱4について意見を求めます。

(委員)

- ・ 学校は、教育の場であり地域に欠かせない施設です。この計画ができしだい、学校が復旧するという方針を出して欲しいです。がれきが残っていますので学校が残るのか不安があります。

(小野田委員長)

- ・ 優先的に記載するべきということですね。

(委員)

- ・ 小中学校の学区編成の見直し、石中、門中の統合や小中一貫校についても考える良い機会と思います。市立女子高の統合について、決めてから3年経ちます。教育の多様化、人を育てるのがポイントなのでよろしくお願いします。

(小野田委員長)

- ・ 指摘の重要性は認識していると思いますので、反映をしてください。施設配置の見直しもあり、災害の拠点として動いてはいるので、書き込みをお願いします。

(委員)

- ・ 学校のスクールバスの記載がありますが、網地島のスクールポートについても記載をお願いします。

(小野田委員長)

- ・ 地区別方針はこれからであり、随時変えていくということで良いですね。これはお気づきになったらというレベルと思います。重点PJはこれで良いですか。

(委員)

- ・ 水産関係がかなり記載されていますが、農林、商工業の部分が記載されていません。産業基本理念の2番目が産業・経済の再生ですので、海との共生プロジェクトではなく産業全体ということではないですか。

(産業部長)

- ・ 重点プロジェクトの確認について、部としては「海と大地との共生プロジェクト」ということで考えていましたが、情報出しが遅れていました。これから修正を出します。

(小野田委員長)

- ・ 一次産業という意味ですね。それなりに工業系は入っていますね。第6章、国との調整等がこれから大変ですね。計画図について、念頭に入れて欲しいこと等があればお願いします。

(委員)

- ・ 市民の関心事、文書の流れ、考え、3割自治としてやむを得ないのだろうと感じますが、市は実践実行部隊なので、これにフォローするような書き振りがが必要です。スピードと実現可能性が必要です。南浜町のシンボル公園という計画ですが、これまで居住していた1,400世帯はどこに行くのかという問題があります。公園にするのであれば、南境の遊休地との交換や、トゥモロービジネスタウンの空き地を宅地転用するなど、代替地についてもここに示すべきだと思います。安全安心の地域づくりが原点ということを示すべきです。中心部で高い土地は日和山しかありません。景観を損なう等で高区配水塔の整備計画がなくなりましたが、震災時の状況を見れば、各公共施設に皆、避難をしています。整備されていれば、あれだけの期間、断水することはなかったので役立ったはずですが、安全安心が前面に出た内容にして欲しいです。

(小野田委員長)

- ・ 居住地の移転先のめどをどのように示すかですが。

(基盤整備課長)

- ・ 南浜地区等の受け入れ先は黄色丸の復興新市街地として案を示しています。今後、復興推進地域としてどのようなものを望むのか、地権者の方々の意見をお聞きしながら進めていきたいと考えています。

(小野田委員長)

- ・ コンパクトシティとして街なかの住宅も選択肢に入りませんか。

(基盤整備課長)

- ・ 多くの選択肢を示していきたいと思います。

(委員)

- ・ 事業主体の記載の部分ですが石巻市が一番先に来るべきではないですか。自主再建ということからも修正すべきと思います。

(小野田委員長)

- ・ 自立する石巻市として、牽引する意味からも、すべて行政ができるわけではありませんが、計画に反映させてください。

(委員)

- ・ 新橋梁をかけて湊方面に逃げるとの考えもありますが、交通渋滞の緩和にはなるとは思いますが、水辺に逃げることはどうかと思います。都市計画道路の門脇井内線は街路整備として失敗した事例です。20億の事業費で整備は2億、残りは用地補償等の費用に費やされました。南北に、日和山に逃げる街路の検討もあるのではないですか。過去の失敗を参考に検討して欲しいです。

(小野田委員長)

- ・ 新しい橋は避難路ではないと思いますが、門脇井内線等をどうするか、交通網の整備についてお願いします。

(基盤整備課長)

- ・ 両方から日和山へ逃げられる避難路ということで整備することとしています。

(小野田委員長)

- ・ 逃げる部分、ソフト面とセットでという部分もありますので、きちっとした整備をお願いします。

(委員)

- ・ 17ページ、被災者生活再建支援金について、世帯への給付で、別居されているとタイムリーにいかないとのことなので、そういった事例があることも知っておいて欲しいです。都市基盤復興基本計画について平成25年3月10日とホームページに出っていますが、その説明をお願いします。

(基盤整備課長)

- ・ 9月1日の都市計画決定、発災から2年以内に事業着手、その期間内に事業検討ということです。

(委員)

- ・ そうすると計画が出るまで家は建てられないということですか。

(基盤整備課長)

- ・ 細かい道路整備等をどうするのか、皆さんと話し合いますが、一定条件下で家を建てられます。

(小野田委員長)

- ・ 制度の説明としては正しいですが、こういった制限を受けるのかという詳細説明が必要です。

(基盤整備課長)

- ・ 地区の皆さんと話し合いながら作り上げていきます。仮住まいについてもその話し合いの中で進めていくこととします。

(小野田委員長)

- ・ いつまでも検討してはらいけませんので、2年以内に事業を決めるという法律になっています。話し合っただけで道路整備等が決まっていますが、急いでも時間はかかります。

(委員)

- ・ 湊地区の方々の関心事です。いつ話し合いの場が設けられるのかを知りたいです。

(基盤整備課長)

- ・ 国の支援制度等が見えてきた段階で、早く開催できるよう準備しながら進めていきます。

(委員)

- ・ 計画図について、凡例がないのでわかりませんが、シンボル公園、南浜全体ですが、意見を言わなければこのまま進むので言います。公共用地が少ない中でシンボル公園の整備にこれだけの面積を使うのですか。有効利用できる土地だと思うので、工業用地としての活用もあるのではないですか。

(小野田委員長)

- ・ 南浜地区は津波シミュレーションをかけてみると、なかなか守りがたい土地です。工業用地にするとそこに立地した企業に問題が生じることとなります。非可住エリアを可住にするためには過大な堤防が必要で、それで守るのは南浜だけでは難しいです。

(委員)

- ・ それらも示されないと検討もできません。

(小野田委員長)

- ・ 県から堤防の高さが示されないのも一因です。わかるようにして情報を出してください。

③ 副委員長あいさつ

- ・ 長時間ありがとうございます。高盛土道路や堤防がどうなるかが、街づくりのポイントであり、それに触らないでこの会は進めません。
- ・ 次回は長時間かける、住んでいる我々が将来に向かって良い案を考えていきたいと思えます。
- ・ これをやれば石巻が良くなるということを計画にちりばめていかなないといけませんので、これからも頑張っていきましょう。

以 上